

残留農薬/動物用医薬品 検査サービスのご案内

厚生労働省HP

食品に残留する農薬等に関する新しい制度(ポジティブリスト制度)についてより

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zanryu2/dl/060516-1.pdf>

残留農薬に関するポジティブリスト制度では、原則、すべての農薬等について、残留農薬基準(一律基準を含む)を設定し、基準を超えて食品中に残留する場合、その食品の販売等の禁止を行うこととしたものです。

食品に残留する農薬等については、農畜水産物の生産段階において、適正な使用や管理を行うことが重要であり、使用する原材料における農薬等に関する情報の収集に努め適切に管理されたものを使用することが重要です。

農薬の使用基準(農薬のラベルに表示されている使用方法)を守って農薬を使用すれば、その農薬の対象作物については、残留農薬基準を超えることはありません。

ただし隣接する農作物への飛散(ドリフト)をできるだけ少なくするよう心がけることが必要となります。



一斉分析

一度に数多くの農薬の分析が可能です。
多項目を一斉に分析するためコストパフォーマンスに長けています。

個別分析

分析手法の関係で一斉分析が不可能な項目もあります。
一斉分析のみはリスクが伴います。

例えば グリホサートは一斉分析で行うことは不可能です。
グリホサートは、世界中で最も使われている除草剤の主成分です。
農地のほか、公園や校庭、街路樹、駐車場などでも散布されています。



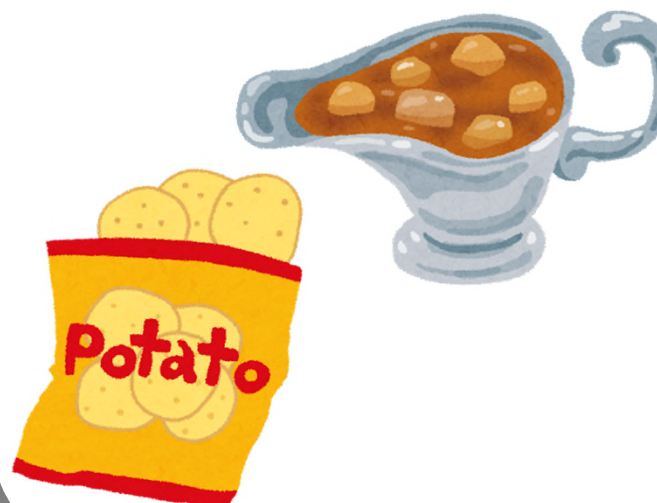
弊社検査の強み

通常、油脂を多く含む製品や香辛料を多く含む製品では夾雑物が多く、抽出、精製がそれら成分により妨害されることがあり、最終製品での分析は検出を見逃す恐れがあります。弊社では、生鮮野菜はもとより、カレーやスナック菓子など多くの製品や香辛料で検査実績があり、複雑な加工を経た食品でも精度高い分析を実施致します。

夾雑物＋揮発成分
あり



油脂＋複雑な加工
あり

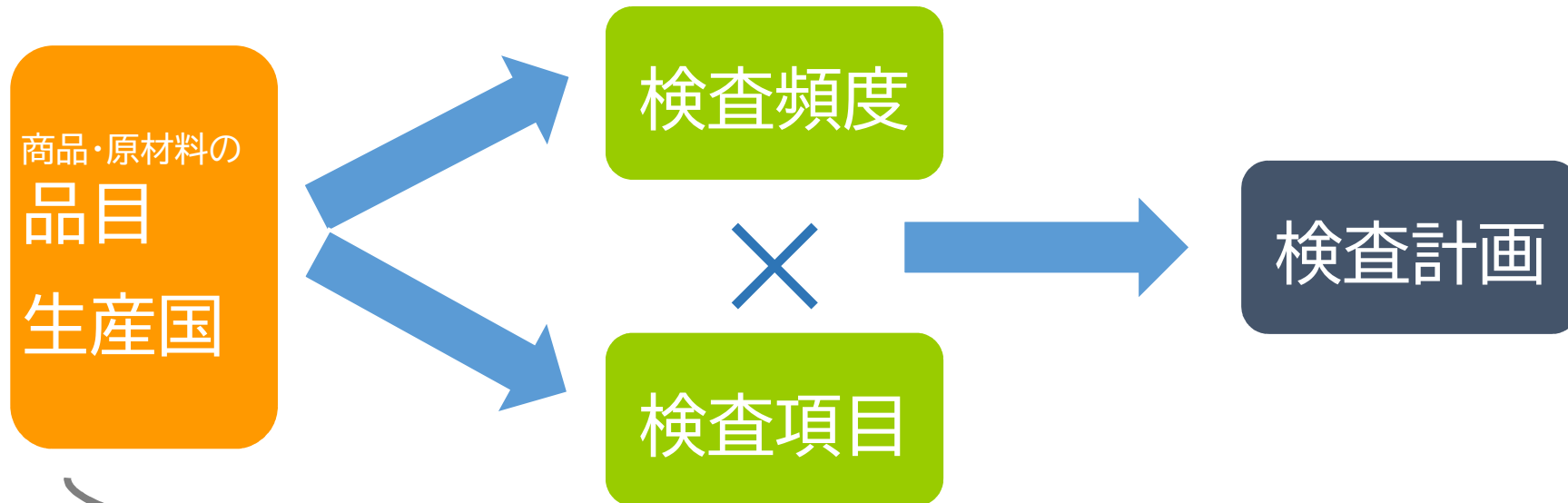


弊社の残留農薬検査に関する考え方

効率的な安全確認

- 全ての農薬を検査して確認するのは現実的ではありません
- 弊社では、品目や生産国により、リスク評価を行い、最適な検査項目を検査致します

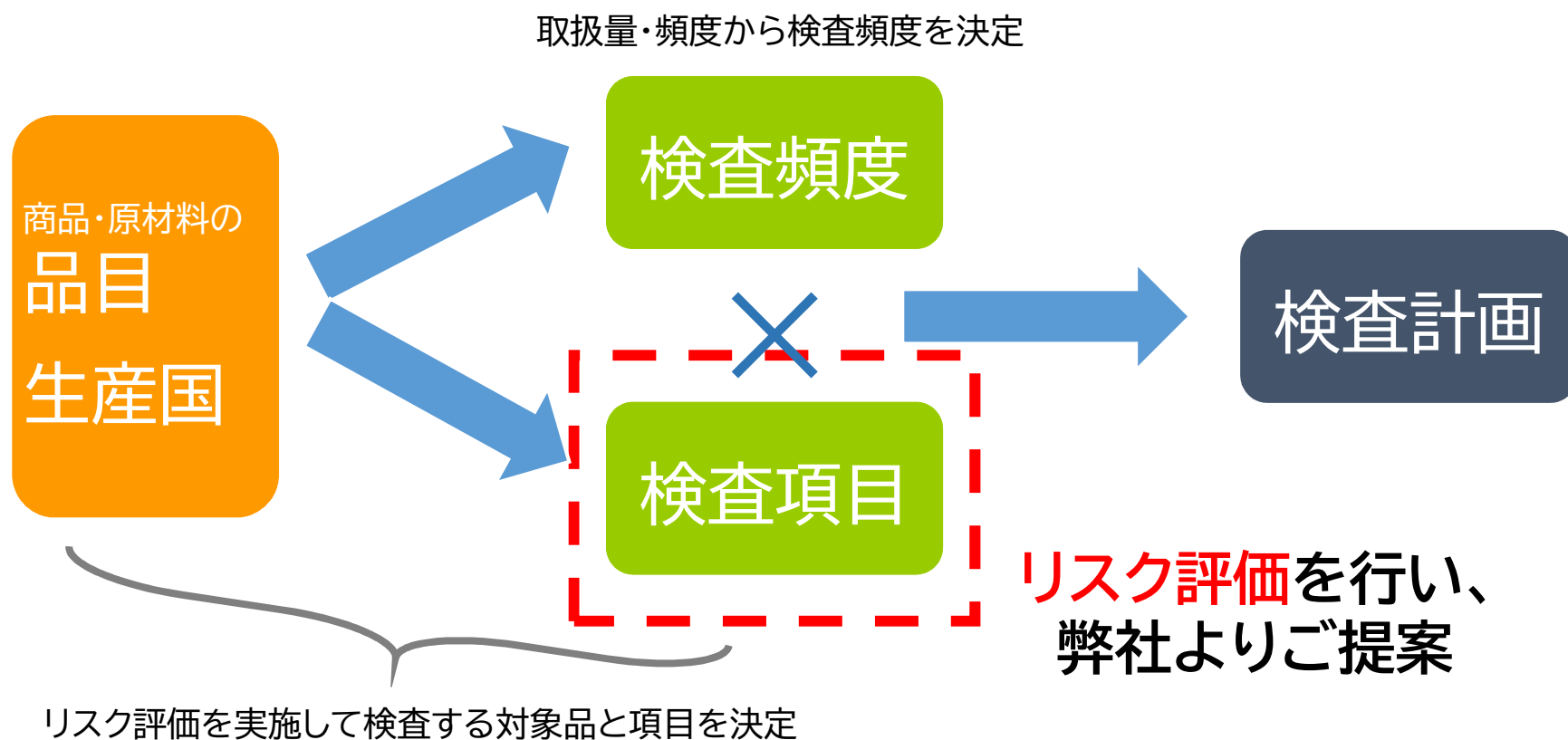
取引量・頻度から検査頻度を決定



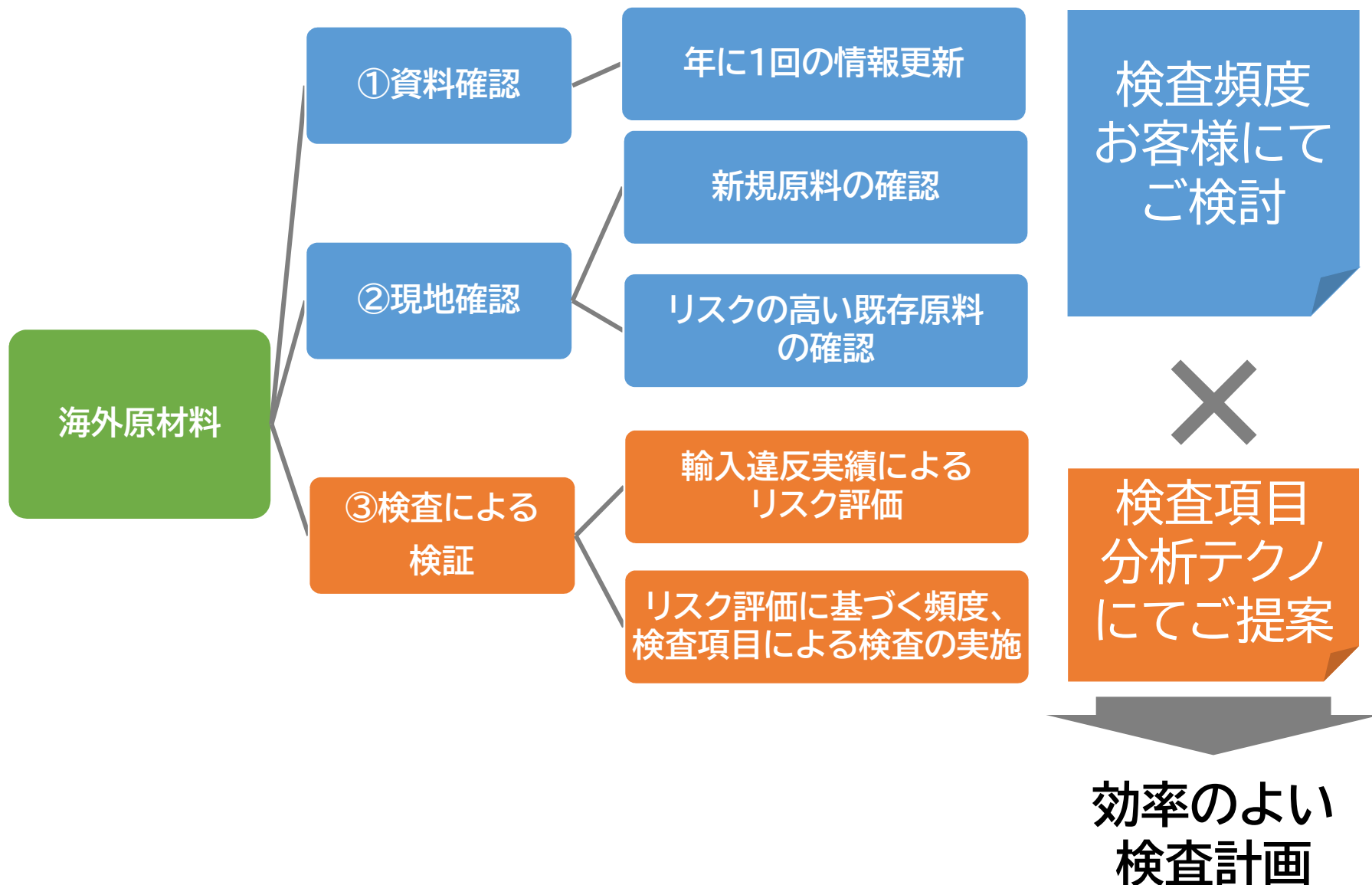
リスク評価を実施して検査する対象品と項目を決定

弊社の残留農薬検査に関する考え方

効率的な安全確認



【ご参考】海外原材料の安全性確認イメージ




残留農薬

対象食品、項目数、価格はお問い合わせください。対象食品に最適なメニューを提案させていただきます。

提案・検査実績：輸入原料

農産 中国 おくら・シイタケ・タマネギ・いんげん・たけのこ・レンコン・ブルーベリー
 スペイン にんにく、ベトナム ヤングコーン、インドネシア おくら、台湾 えだまめ・いんげん
 ニュージーランド トマト・タマネギ・パプリカ アメリカ ブロッコリー・レタス

試験項目	試験内容・方法	料金(税別)
一斉分析有機リン系 58項目	検査項目は、お問い合わせください	41,400円
一斉分析150項目	検査項目は、お問い合わせください	59,800円
一斉分析200項目	検査項目は、お問い合わせください	69,800円
一斉分析250項目	検査項目は、お問い合わせください	75,000円
グリホサート 	除草剤として多く使用されており、ハチミツなどで問題となることがあります	31,000円

動物用医薬品

水産品メニュー(10~41項目)、畜産品メニュー(30~42項目)、ニトロフラン類4種のメニューの他に、クロラムフェニコールの追加も可能です。対象項目、価格については、お気軽にお問い合わせ下さい。対象食品に最適なメニューを提案させていただきます。

提案・検査実績:輸入原料

畜産 牛 アメリカ・オーストラリア 豚 アメリカ・カナダ・メキシコ・スペイン・イタリア 鶏 ブラジル・タイ
水産 サバ 中国・ベトナム・インドネシア エビ タイ・インドネシア・ベトナム・中国

試験項目	試験内容・方法	料金(税別)
一斉分析水産品 26項目	検査項目は、お問い合わせください	82,000円
一斉分析畜産品 42項目	検査項目は、お問い合わせください	82,000円
ニトロフラン類4項目	検査項目は、お問い合わせください	29,800円



資料にない内容など、ご不明な点は
メールにてお問合せください



分析テクノ
HPはこちら

メールお問い合わせは
こちらをクリック